

学生調査から 大学教育の課題を解決する

～イマドキからコレカラを考える～

ベネッセ教育総合研究所では、2008年から2016年まで4年ごとに、大学生の学習・生活実態を把握する調査を行ってきました。

本イベントでは、「イマドキの大学生」を示すデータという素材に、みなさまが有する経験や感覚、感情も織り交ぜながら、異なる立場や背景を持つ参加者同士が協働して「コレカラの大学教育」を共創するワークショップを行います。

データを媒介として、教員・職員・学生が共に、教育の未来を創り出す一そんな場を体験してみませんか。

ご参加をお待ちしています。

2018. **3.10** (土)

ワークショップ 12:45 ~ 17:30 (12:15 受付開始) / 情報交換会 17:45 ~ 19:15

TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター ホール 5B

アクセス

JR 総武線 市ヶ谷駅 / 都営新宿線 市ヶ谷駅 4 番出口 徒歩 2 分
東京メトロ南北線 市ヶ谷駅 7 番出口 / 東京メトロ有楽町線 市ヶ谷駅 7 番出口 徒歩 1 分

募集対象

大学教員 50 名 大学職員 50 名 (定員締切有り)

※教員・職員の定員は申し込み状況によって変更する可能性があります。

※ワークショップには現役の大学生も参加しますが、ここでの募集はいたしません。

参加費

ワークショップ 3,000 円 情報交換会 2,000 円 (事前振込み)

[コーディネーター] 山田剛史 (京都大学准教授)

[アドバイザー] 川嶋太津夫 (大阪大学教授)、杉谷祐美子 (青山学院大学教授)、谷田川ルミ (芝浦工業大学准教授)

[主催] ベネッセ教育総合研究所

プログラム

第 1 部 調査結果を知る

「第3回大学生の学習・生活実態調査」の結果概要を報告します。

第 2 部 ワーク①

データを解釈し、テーマを決める。

調査結果を解釈し、グループで議論しながら解決したいテーマを設定します。
アドバイザーから、データを使って考えるヒントをご紹介します。

第 3 部 ワーク②

課題解決の方法を創出し、共有する。

グループで設定した課題の解決策を、議論しながらポスターにまとめます。アドバイザーへの相談や、解析ソフトを使ったデータ分析のサポート窓口もご用意します。
最後はポスターを貼りだし、参加者で共有します。

情報交換会 (軽食・飲み物付き)

参加者同士の懇親や、アドバイザーがご質問にお答えする場として、情報交換会を開催します。
貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

エントリー時にお伺いする課題意識に応じ教員・職員・学生の3者混合グループに分かれ、ワークを行います。

